

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
18.11.06(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

勤務時間大きく改善?

タイムカードで5月と9月を比較

タイムカードによる時間管理。今回は、5月と9月の比較をしてみました。定期的に、5月という年度初めの忙しさと一段落した9月とでは、仕事量は違うのでしょうか、それ以上に記録上の残業時間が大きく減っていることが分かりました。皆さんの実感と合致していますか。

16時間の削減

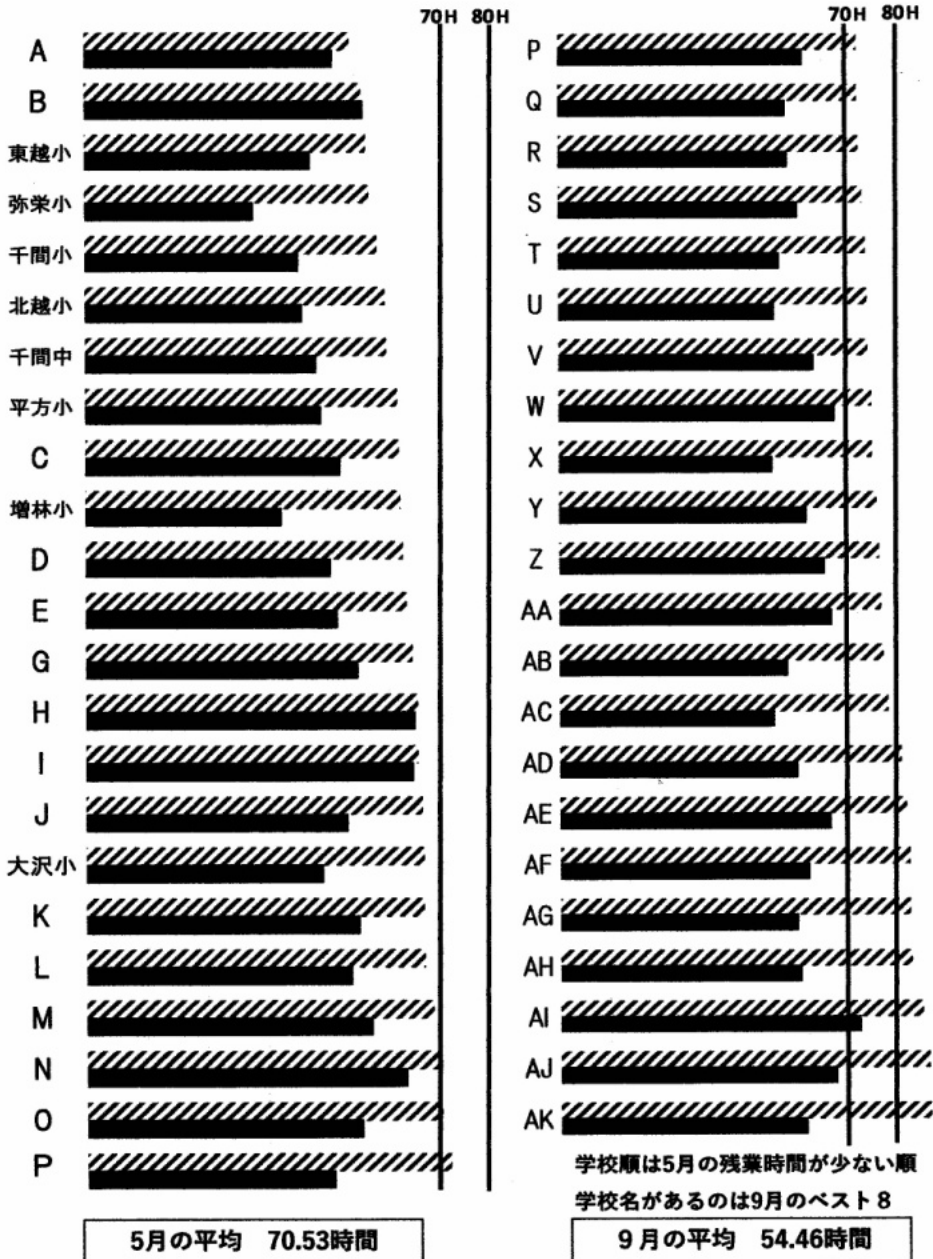
表の通り、全校平均で約16時間減っています。5月を上回った学校は1校もありません。すばらしい結果です。どの学校でも、勤務時間の短縮が呼びかけられ、様々な工夫・改善がされたことでしょう。9月の結果から、

休日も記録する

この記録は、出勤の命令があったかにかかわらず、実態として勤務したかどうかを記録するものです。万が一にも倒れた場合には、勤務状況を証明するものになります。自分や家族を守るものでもあるし、管理職や行政を守ることもあります。事実を事実として、正確に記録するようにしましょう。

特に心配なのが、休日出勤の記録です。パソコンの電源が入っていないとか、なるべく出勤しないように言われているなどから、記録漏れがあるのではないのでしょうか。中学校で、残業時間の記録が少ない学校は、部活動の時間は正しく記録され

勤務時間外の1人あたりの平均在校時間 (上段 5月 下段 9月)



ていますか。実は表のA校もB校も中学校です。小学校よりも短いと言うことは、なかなか難しい

打刻後も勤務

管理職に言われるから、記録上は帰ったことになって、実際にはその後にも勤務をしている。あつてはならないことではないでしょうか。

真の改革のために

誰のためにもなりません。前号で変形労働制によって、教員の無限定な残業がごまかされようとして

が、身近なところで見聞きしています。終わらない仕事を「時間内に」と言われるのもつらいものですが、その場しのぎに自分を守っても、けっして

改善は改善として進めながら、実態は実態として正しく把握する。

